

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ヒトの血液を用いた効果的なワクチン成分の研究 (献血血液由来のヒト末梢血細胞を用いた免疫賦活化物質による免疫応答機構の解析)
研究期間	2017年12月～2020年3月
研究機関名	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター
研究責任者職氏名	センター長 石井 健

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

ワクチンには、病原体などの抗原が含まれており、生体で特異的な免疫反応を誘導することができます。近年、ワクチンで効率良く免疫反応を誘導するには、ワクチンの製造化工程を変更することで、品質を改良することや、ワクチンにもともと含まれていた、あるいは、後から加えられた免疫賦活化物質(アジュバント：免疫作用を高める作用をもつ薬剤)が重要な役割を果たしていることが明らかになってきました。しかし、アジュバントは同時に、局所の腫れや軽度の発熱などの副反応を引き起こすことも知られています。本研究では、ヒト血液中の免疫担当細胞を分離し、異なる製剤や、免疫賦活化物質ならびにワクチン抗原(インフルエンザワクチン等)で刺激した場合の免疫応答機構の解明を目的としています。この研究は、より安全でかつ効果的なワクチンの開発に有用な知見を提供します。

動物の種類によって免疫反応は変わるため、この研究はヒト以外の動物の血液では代用できません。

この研究は、新規ワクチンや現行ワクチンの改良に用いられる医薬品の開発に役立ちます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血者の末梢血液から末梢血単核細胞を分離します。末梢血単核細胞は免疫細胞の集団であり、この細胞にワクチンの成分として効果が期待される候補物質を投与し、反応を測定することによって、実際にヒトに投与した場合にどのような反応が起こるかを予測することができます。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	30J0041
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター
担当者	石井 健
電話	072-641-8043
Mail	kenishii@nibiohn.go.jp